

チャレンジ みなみん

令和4年度 第11号

令和5年 2月13日

福井市社南小学校

TEL: 35-2822 FAX: 35-2879

E-mail: y-min-e@fukui-city.ed.jp

常日頃、新型コロナウイルスやインフルエンザ感染症対策にご理解とご協力をいただきましてありがとうございます。また、1月下旬の大雪の際には、通学路の除雪や見守り・付き添い等にもご協力いただきまして、心より感謝申し上げます。おかげさまで、本校では、基本的な感染防止対策を行いながら、工夫して教育活動を行うことができています。2月7日(火)には、令和5年度の新入生を招いて「わくわく交流デー」を行いました。1年生が、お兄さんお姉さんとして、やさしく新入生を導いている姿がほほえましかったです。これからも引き続き本校教育活動にご理解ご協力をお願いします。

不審者対応避難訓練



12月14日(水)、福井南警察署の方に来ていただいて、不審者対応避難訓練をおこないました。

①不審者の侵入に対応して、教職員が児童の安全を守るために、互いに連携を図りながら冷静沈着かつ迅速に行動できるようにする。

②児童自身が自分の身を守るため、落ち着いて素早く行動できるようにする。

以上の2つを目的としています。不審者対応の時のスローガンは「かたまる やべらない わがらない ないふりをする」です。

れんしゅうってわかっていたけど、けっこうこわかったです。おまわりさんのおはなしをきいて、きをつけようとおもいました。知らない人にはついていけないのがんばろうとおもいました。 1年生

今日のひなんくんれんをいかして、じぶんのいのちをまもりたいです。知らない人が話しかけてきてもついて行きません。ひなんくんれんは、とてもおべんきょうになりました。 2年生

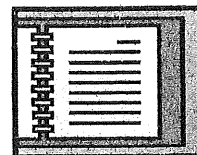
この学習でおぼえたことは、もし、家にほうもん者が来てもかぎをあけないこと、後ろからついてくる気配があったらこども110番の家やおうちの人に知らせること、あやしい人にたずねられたら「わかりません」と言ってその場をはなれることです。 3年生

不しん者は、学校にいるときだけでなく、帰り道や家にいるときも来るかもしれないからこわいなと思いました。遊びに行くとき、防犯ブザーは持ってるべきだなと思いました。くんれんはちゃんとやるべきだと思いました。 4年生

不しん者が来た時を想像して、不しん者対応避難訓練をしました。警察の人が言っていたことをこれからはしようと思いました。不しん者が来たときに対応できる自信ができました。 5年生

地震や火事の時とは少し違う命を守る訓練だと思いました。地震の時よりも本当に起こった時の対応が難しいと思いました。冷静に先生の話聞いて行動できるようにしたいです。 6年生

保護者アンケートの集計結果について



保護者の皆様には、児童の学校および家庭生活に関するアンケート調査（12月実施）にご協力いただきありがとうございました。紙面の関係上、すべてではございませんが、「福井市共通の質問」等について集計結果をご報告させていただきます。

本校では、「み」みずから考え行う子 「な」なにかにチャレンジしていく子 「み」みんな仲よく助け合う子 を目指す児童像と定めています。これらは、子どもたちが、将来よりよい人生を送るための素地づくりとなります。学校が目指すことを保護者や地域の皆様と共有し、そして、協力していけるように、アンケートの結果をお知らせします。

今回のアンケートだけでなく、いつでも何なりとご意見、ご感想をお寄せください。いただいたご意見などを参考に学校改善を図ってまいります。これからも、ご理解とご協力をお願い致します。

《保護者アンケート》

※A（よくあてはまる）及びB（ややあてはまる）と答えた回答者の割合（％）

質問内容	R3	R4
①我が子は、学校生活を楽しんでおり、友人関係も良好である。	94	93
②学校は、PTA総会・懇談会・学校だよりや学年だより等を通して教育方針や教育内容を適切に伝えている。	93	91
③学校は、不審者への対応や交通安全など安全面について適切に指導している。	96	95
④学校は、子どもたち一人一人を大切にし、温かく指導している。	92	91
⑤学校は、体験的な学習を積極的に取り入れ、学習活動の充実に努めている。	93	96
⑥学校は、食育や健康な体づくりに力を入れて取り組んでいる。	95	96
⑦子どものことで、気軽に学校に相談できる。	81	79
⑧教職員定時退庁日をはじめとする働き方改革の取組を理解できる。	95	98

《成果と課題》

【成果】

- 過去2年間、数値は大きく変わっておらず総じて良好な結果が得られている。
- 食育や体づくり、体験的な学習の取組が着実に進んでいる。
- 「⑧働き方改革への理解」が着実に進んでいる。

【課題】

- 「⑦子どものことで、気軽に学校に相談できる」→家庭と学校とが協力してお子様の教育に取り組むことが大切だと思っています。学年だよりの「こだま欄」を活用して下さっても結構です。いつでもご意見、ご感想を聞かせてください。お待ちしております。